

第52回 独立行政法人都市再生機構 契約監視委員会
審議概要

開催日	令和4年6月14日（火）
開催場所	WEB開催
出席委員	<p>長沢 美智子（弁護士（東京丸の内法律事務所）） 高木 勇三（公認会計士（監査法人五大）） 長村 彌角（公認会計士（有限責任監査法人トーマツ）） 鈴木 豊（学校法人青山学院常任監事・青山学院大学名誉教授） 飛松 純一（弁護士（外苑法律事務所）） 水上 貴央（弁護士（Socio Forward株式会社）） 吉田 滋（都市再生機構監事） 上澤 秀仁（都市再生機構監事）</p>
審議事項等	<p>審議事項 （1）令和3年度年間・第4四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について （2）「公益法人に対する支出の公表・点検の方針について」（平成24年6月1日付行革実行本部決定）に係る審議（令和3年度） （3）「令和3年度調達等合理化計画」に係る自己評価について （4）「令和4年度調達等合理化計画」の策定について</p>
審議概要等	<p>別紙のとおり なお、意見・質問欄には各委員からの発言要旨を記載しており、委員会としての意見等を記載しているものではない。</p>

(別紙)

意見・質問	説明・回答
審議事項1 令和3年度年間・第4四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について	
○業界の分析や1者応札率の10年間の推移の表示が資料に表示されたことにより、いろいろな示唆が見えてきた。なかなか1者応札の改善が思うように進まないという現状について、少しでも手がかりを得て、どこから指摘されても1者応札の解消が難しいと説明できるよう、分析を行ってもらいたい。委員会でもそれを点検していく。	・令和3年度年間・第4四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について説明。
【委員会意見】 特段の意見はなかった。	

意見・質問	説明・回答
審議事項2 「公益法人に対する支出の公表・点検の方針について」(平成24年6月1日付行革実行本部決定)に係る審議(令和3年度)	
質問・意見なし。	・点検の対象となる契約がなかったことについて説明。
【委員会意見】 特段の意見はなかった。	

意見・質問	説明・回答
審議事項3 「令和3年度調達等合理化計画」に係る自己評価について	
	・「令和3年度調達等合理化計画」の自己評価について説明。第51回契約監視委

意見・質問	説明・回答
<p>○全体的な評価はA評価からB評価の間だと思うので、妥当な自己評価だと思う。</p> <p>○実績の記載もより詳細に事例も混ぜて踏み込んで書いてくれている。B評価の説明を具体的に書くようになり、その理由がわかりやすくなった。</p> <p>○数値目標もある程度高いレベルの達成が継続してできるようになって、数値化しにくいものはプロセス重視の改善を図っていくしかないということも見えてきた。プロセスの変更・変革を重視して計画を立て、それに対する実績を書くという流れになっており、流れとしては正しいと思う。</p> <p>○取組内容が現場の感覚に近づいてきていると思う。</p> <p>○委員の意見を真摯に受け止めて取り組んでおり、委員会がPDCAサイクルとして機能していると思う。</p>	<p>員会において、第3四半期までの実績と年度の見込みという前提で仮の評価を実施していることから、今回は第4四半期に実施した施策に関する追記事項、数字が確定したもの、あるいは当時と記載内容等に変更があったものについて説明。</p>
<p>【委員会意見】 「令和3年度調達等合理化計画」に係る自己評価案について了承する。</p>	

意見・質問	説明・回答
<p>審議事項4 「令和4年度調達等合理化計画」の策定について</p>	
	<p>・「令和4年度調達等合理化計画」の策</p>

意見・質問	説明・回答
<p>○1者応札の実績について、複数年契約の影響で増加数が異常値となっているので、理由をもう少し書き加えた方がいい。</p> <p>○令和3年度は「RPA等」という言葉があったが、令和4年度ではその言葉がなくなった。理由は何か。</p> <p>○そういった検討を行ったのであれば、「令和3年度に引き続いて行う」ということがわかるような記載が良いのではないか。例えば「令和3年度の検討内容を踏まえ」など。</p> <p>○調達コスト最適化の観点として、国では、例えば持続化給付金の事務の調達で多重下請が問題となった。URでは多重下請で無駄な間接経費が落ちていくことを確認する仕組みは何かあるのか。例えば工事で。</p> <p>○ゼネコンでは工事全体のトレーサビリティをする動きがある。各プロセスでデジタル情報が流れていく仕組み。URもトレーサビリティについての動向を注視した方が良くと思う。</p> <p>○国の方針の影響だと思うが、契約監視制度について硬直的になっている。契約の監視の見方も、一つの見方はある程度の年数を過ぎると合理性が十分ではなくなってくる。URは1者応札の改善が難しいものについて参加者の有無を確認する公募手続の活用を始めたが、こういう取組は柔軟だと思う。何が合理化であって最適化であるか、俯瞰的な観点で計画を見直す契機にすると良い。</p>	<p>定案について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追記する。 ・RPAも検討はしたが、広く職員にライセンスを配布する必要がある、コスト高であることが判明した。費用対効果を見ながら、デジタル技術の中でも効果的なものを入れたいと考えている。 ・その旨追記する。 ・工事では体制表で下請体制の全体を確認している。 ・制度の範囲でできることは柔軟に取り入れて調達合理化に努めてまいりたい。

意見・質問	説明・回答
<p>○世界的な潮流として気候変動問題に取り組まざるを得ない流れ。URの場合、川上（調達）と川下（賃貸）をどのように考えていくか。国においても、遠くない将来に気候変動問題に関連する調達の合理化が求められると思う。その辺の準備も今から行う必要があると思うので検討されたい。川上と川下を一緒に考えるとコストアップが伴うので抜本的な議論が必要で、賃貸収入にも関係してくる。</p> <p>○「調達コストの最適化」の項目の記載案について、文面だけ見ると後退しているように見える。含意としては予定価格が高くなると読み取れる。物価上昇時には仕方ないと思われるが、コストアップの記載は丁寧に書かなければ、後ろ向きになったと評価されかねない。開き直っていると思われぬよう、もう少し丁寧に、できる限りのことは行うという記載とした方がいい。</p> <p>○コストアップについて、狭いマーケットだけ捉えてこの部分に触れると、誤った認識が前提となっているように見られるおそれがある。マーケットに関する表現は慎重にされた方がよい。</p> <p>○令和4年度の調達等合理化計画については、本日各委員から出た意見を踏まえて、URにおいて検討をされたい。</p>	<p>・川上の工事発注段階でどういったことが取り入れられるか検討したい。</p> <p>・確かに言葉足らずなところがあるので、補うような形で追記したいと思う。</p>
<p>【委員会意見】 本日の各委員の意見を踏まえた修正を行うことを以って、「令和4年度調達等合理化計画」の策定案について了承する。</p>	